

平成 22 年度

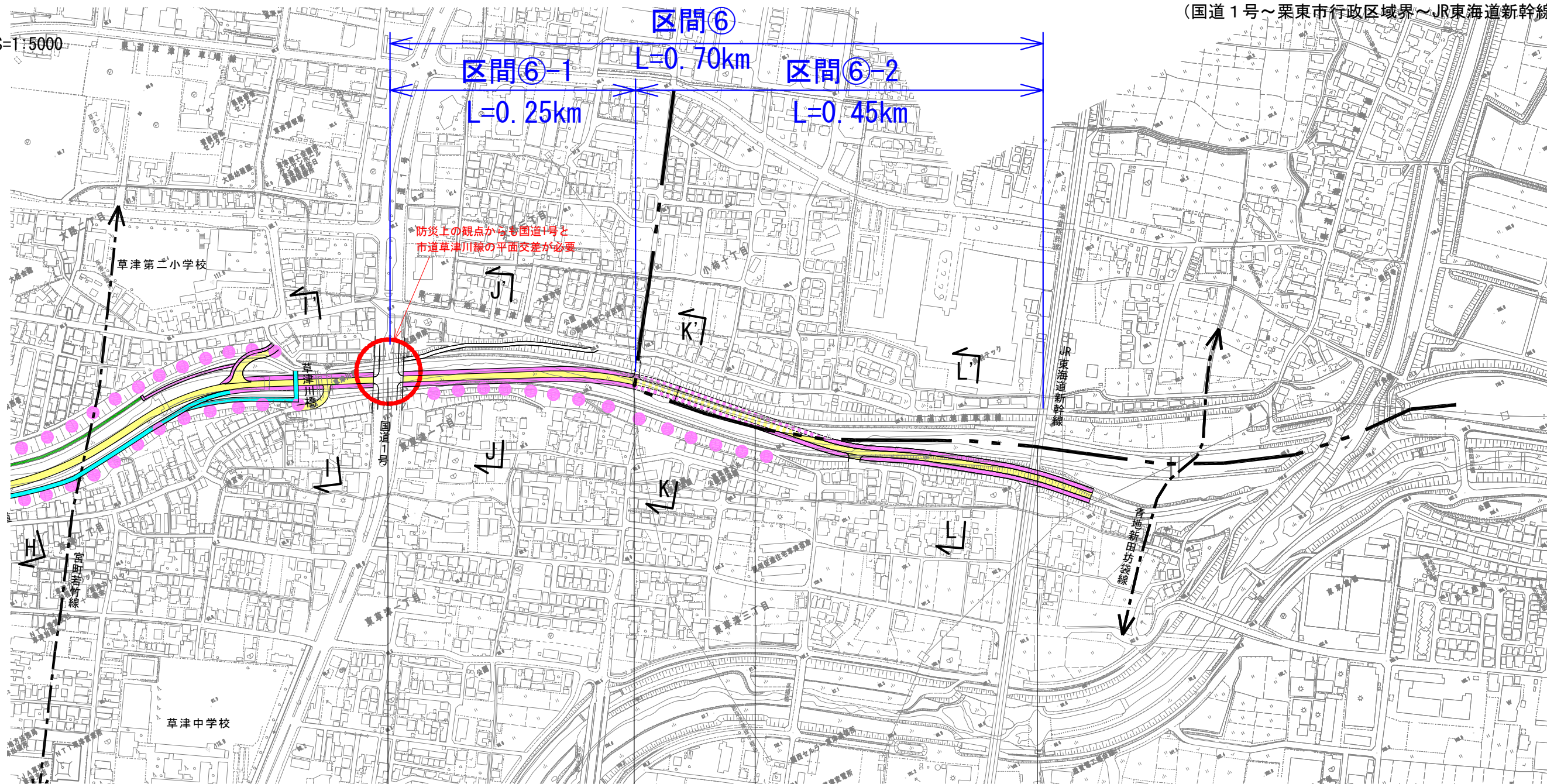
# 道路基本配置計画（案）

平成 22 年 8 月

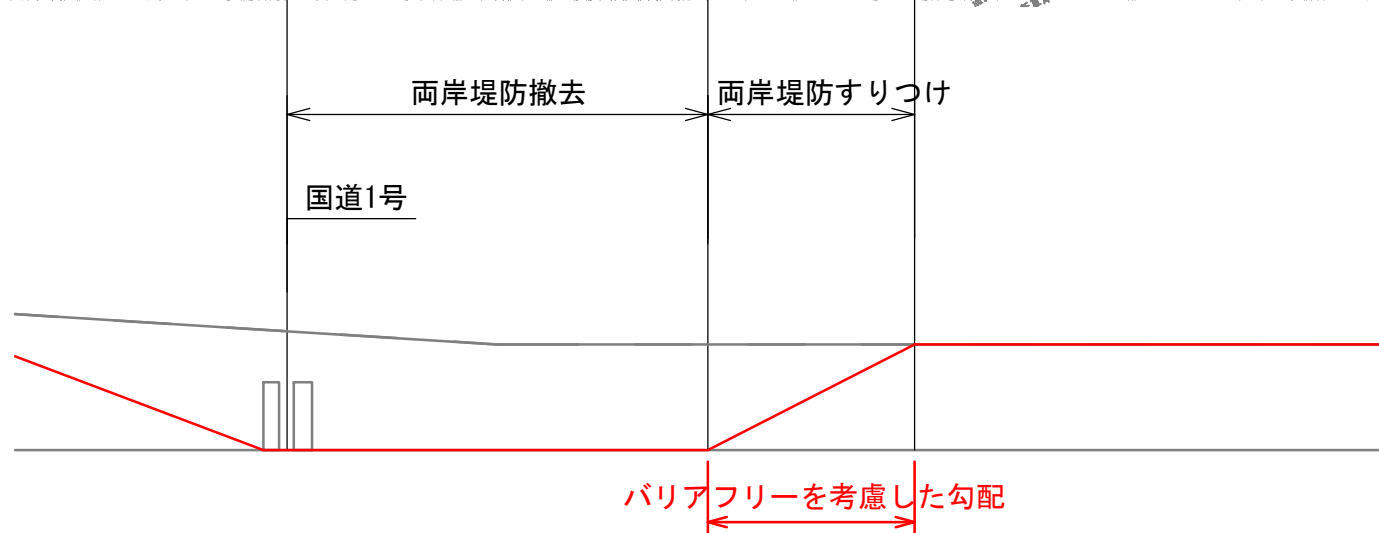
区間⑥

(国道1号～栗東市行政区域界～JR東海道新幹線)

<平面図> S=1:5000



<縦断図>



凡	例
車道	
自転車道+歩道	
桜並木	

凡	例
市道	
左岸堤防天高(現況)	
右岸堤防天高(現況)	

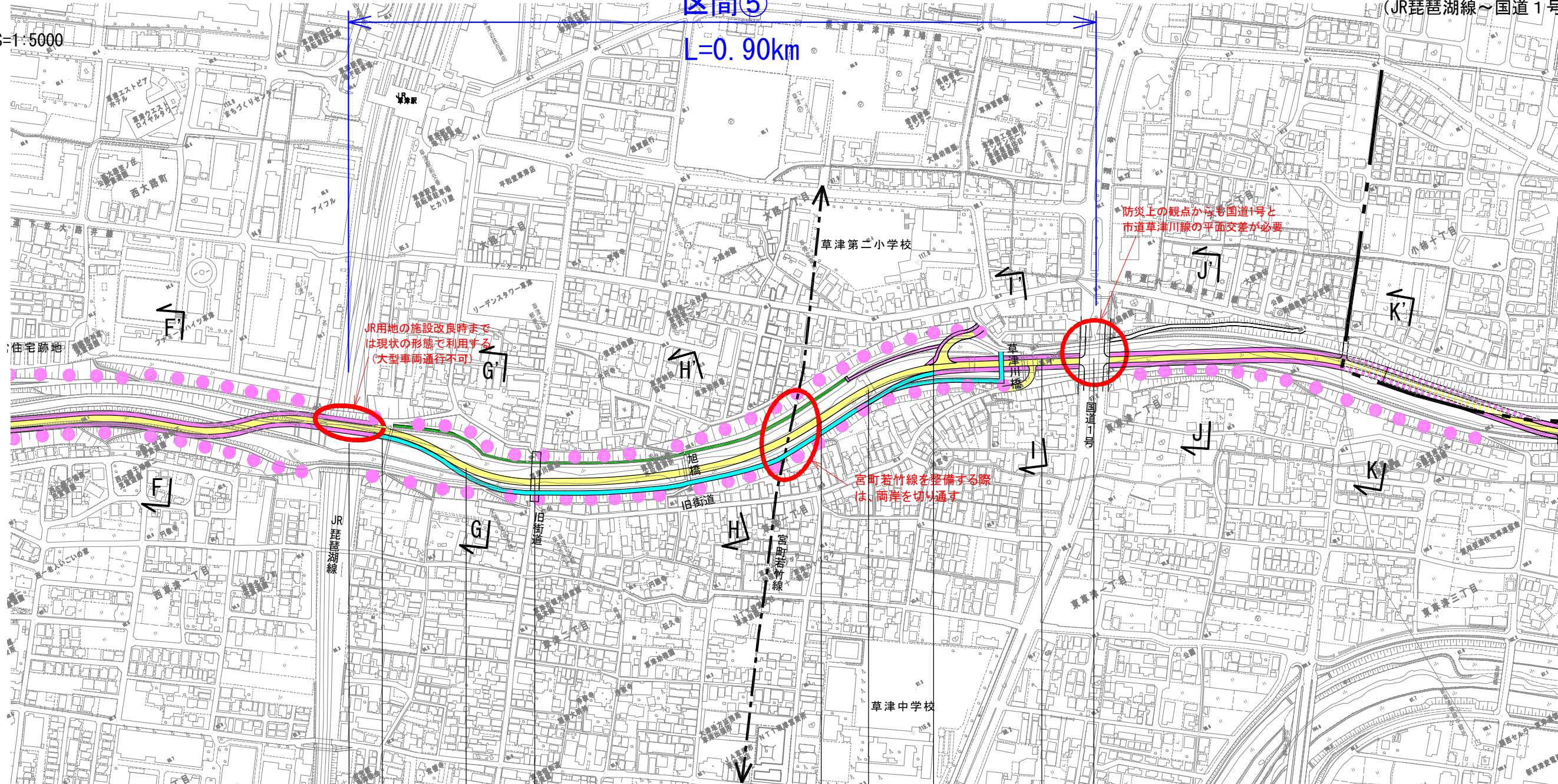


区間⑤

(JR琵琶湖線～国道1号)

<平面図> S=1:5000

区間⑤  
L=0.90km

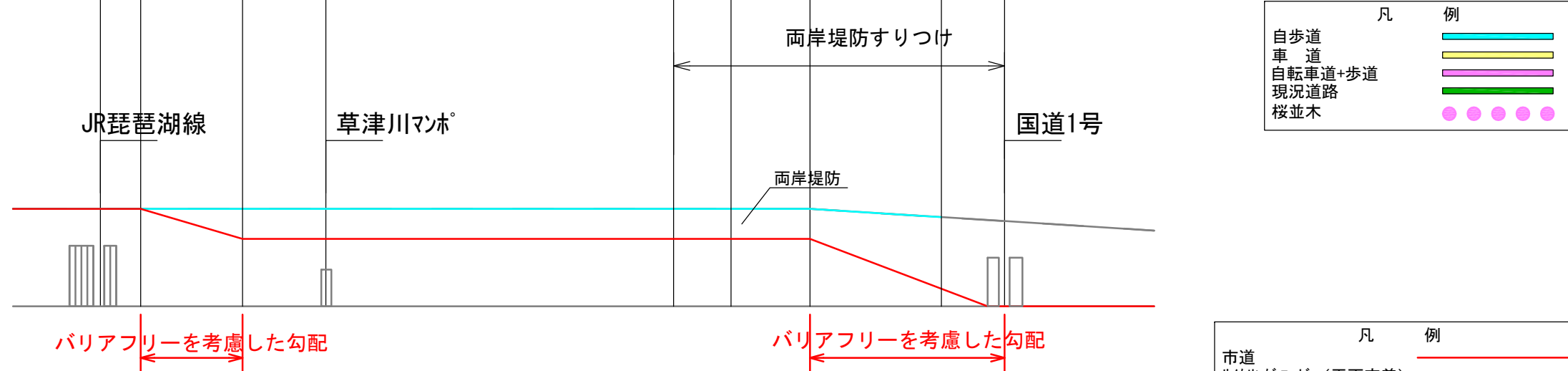


JR用地の施設改良時までは現状の形態で利用する  
(大型車両通行不可)

防災上の観点から国道1号と市道草津川線の平面交差が必要

宮町若竹線を整備する際は、兩岸を切り通す

<縦断図>



凡	例
自歩道	
車道	
自転車道+歩道	
現況道路	
桜並木	

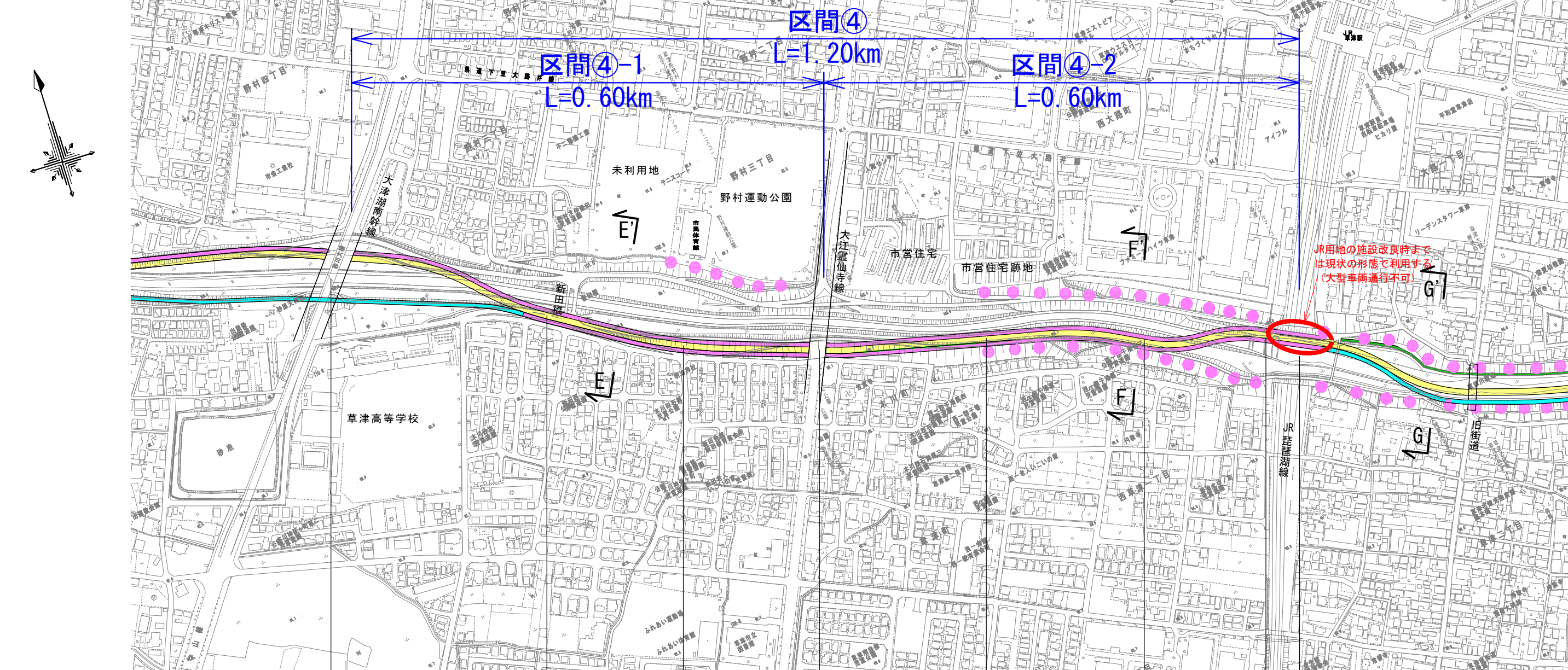
凡	例
市道	
バイパスロード(平面交差)	
左岸堤防天高(現況)	
右岸堤防天高(現況)	



区間④

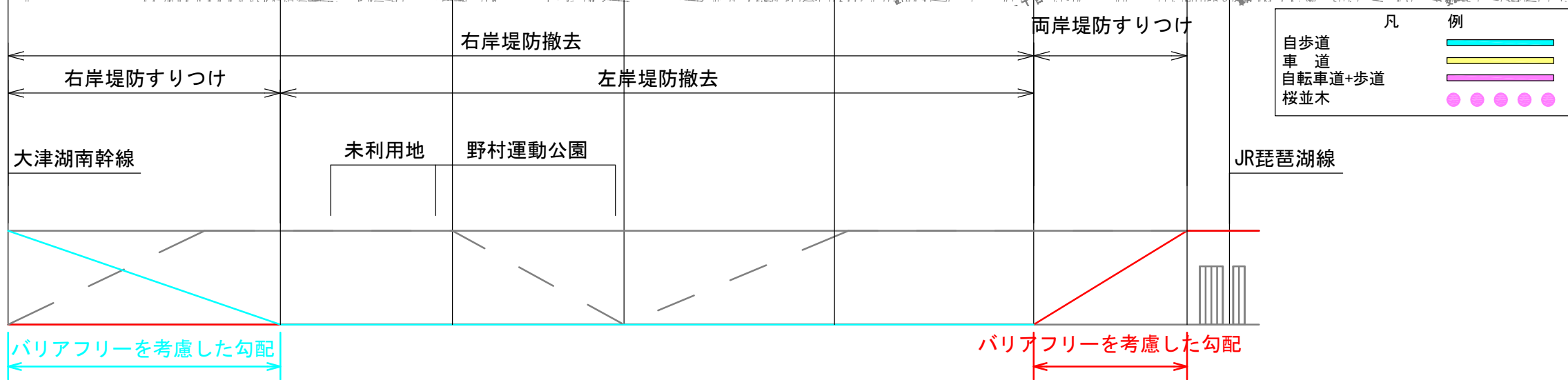
(大津湖南幹線～大江霊仙寺線～JR琵琶湖線)

<平面図> S=1:5000



JR用地の施設改良時までは現状の形態で利用する  
(大型車両通行不可)

<縦断図>



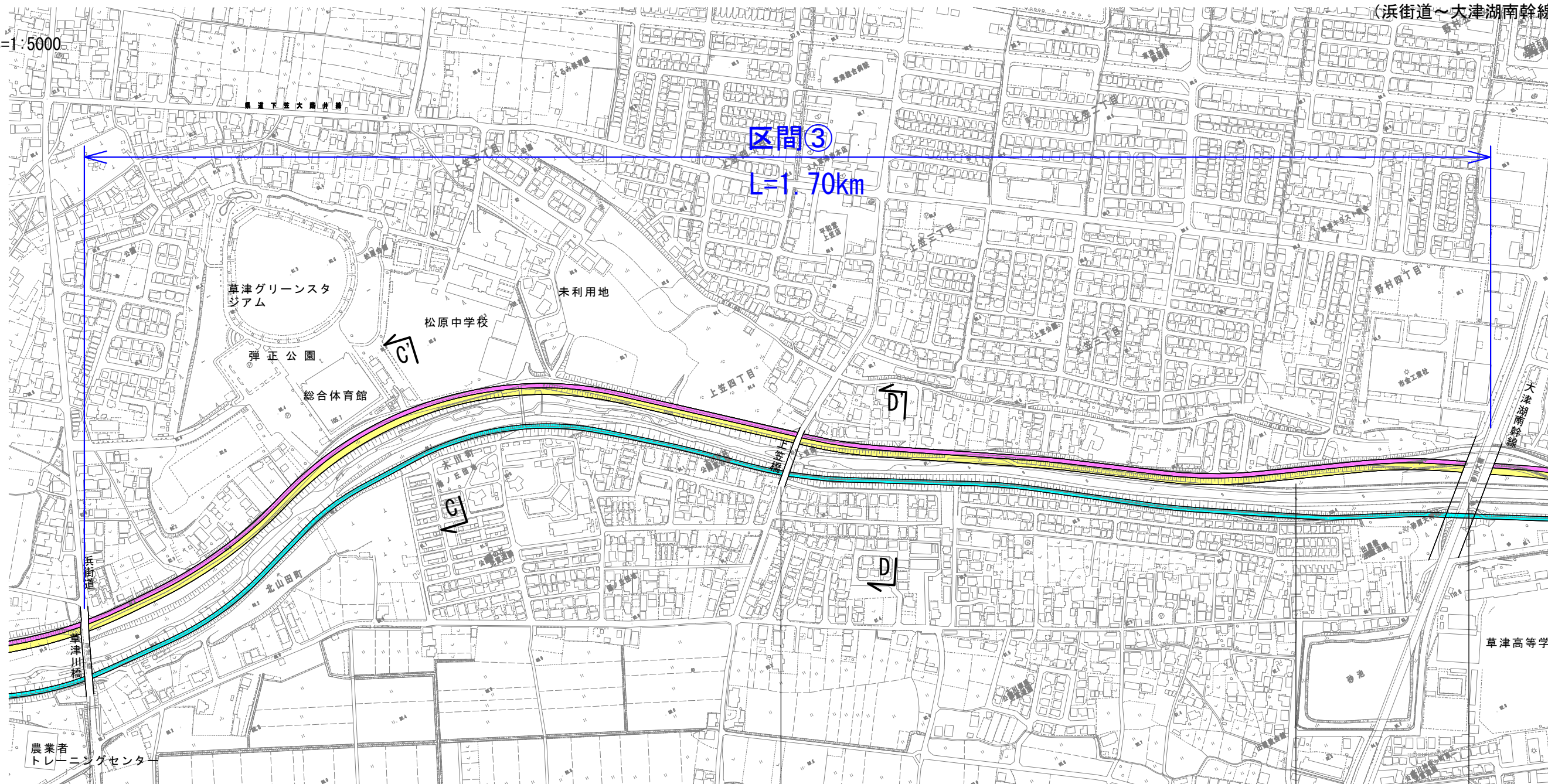
凡	例
市道	
サイクリングロード(平面交差)	
左岸堤防天高(現況)	
右岸堤防天高(現況)	



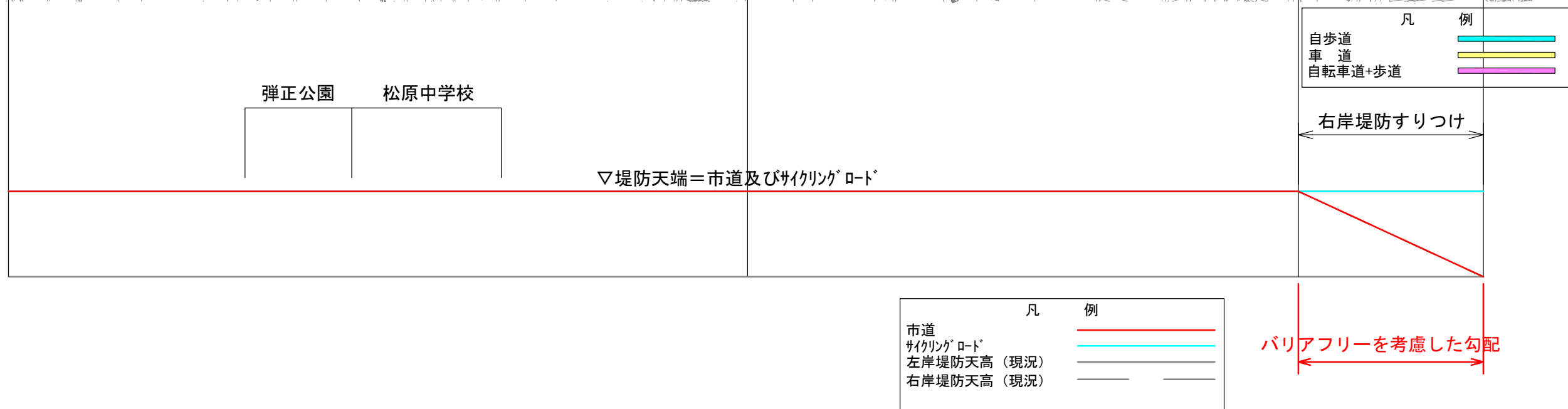
区間③

(浜街道～大津湖南幹線)

<平面図> S=1:5000



<縦断図>





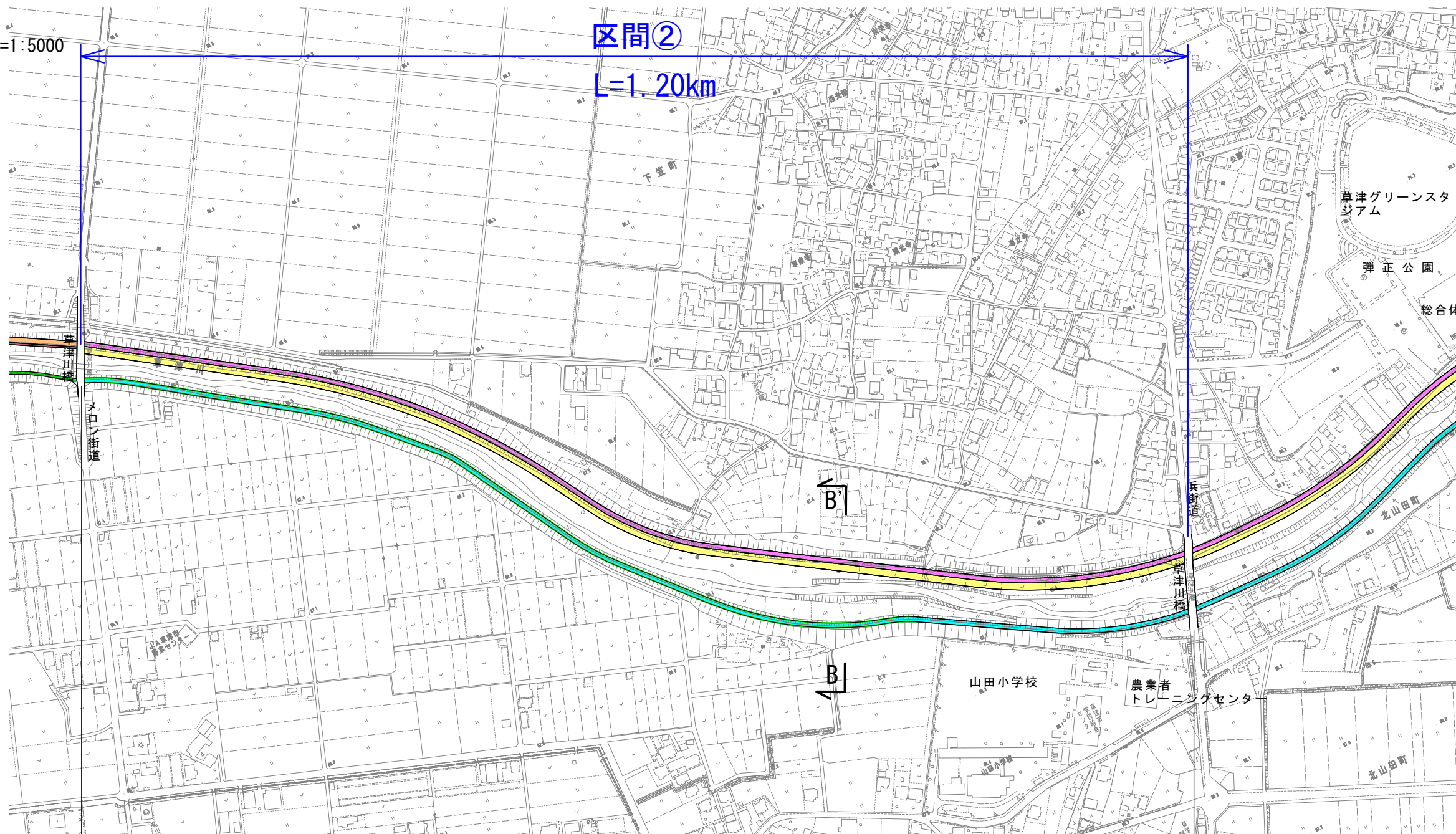
区間②

(メロン街道～浜街道)

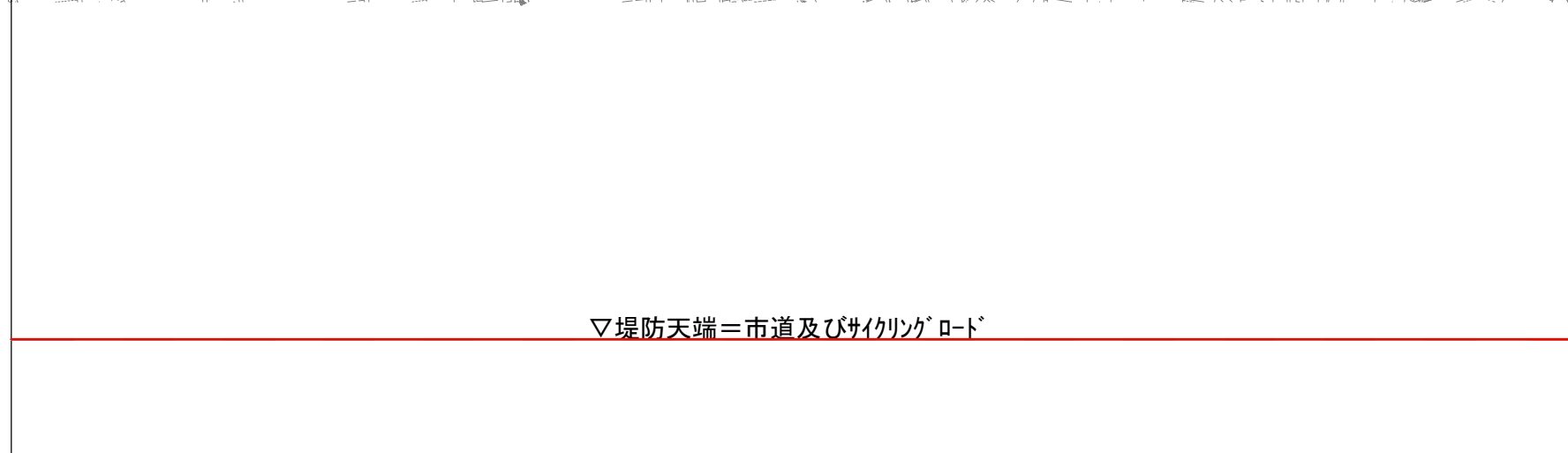
<平面図> S=1:5000

区間②

L=1.20km



<縦断図>



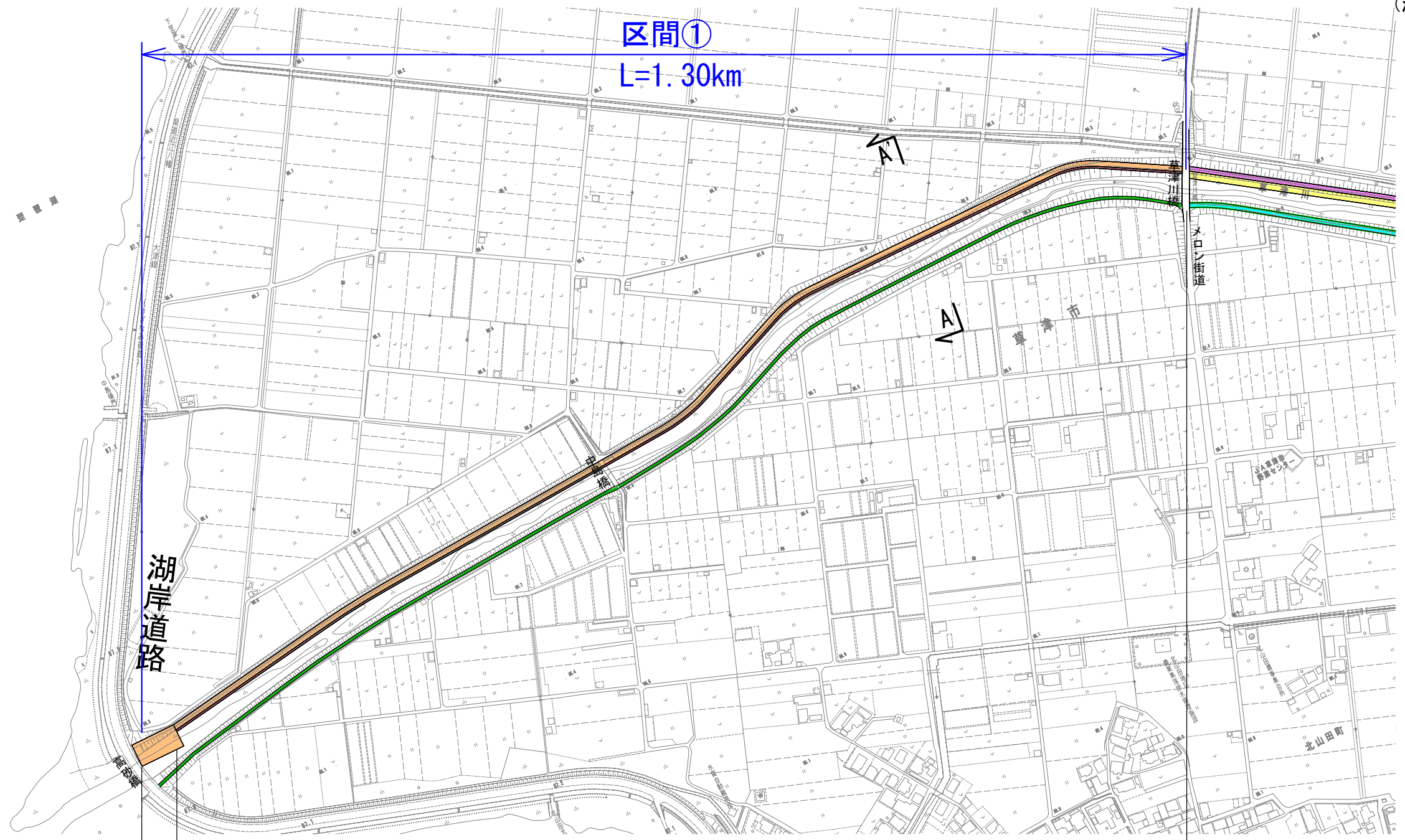
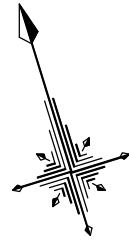
凡	例
自歩道	
車道	
自転車道+歩道	
管理用道路 (車道)	
管理用道路 (歩道)	
現況道路	

凡	例
市道	
サイクリングロード	
左岸堤防天高 (現況)	
右岸堤防天高 (現況)	

区間①

(湖岸道路～メロン街道)

<平面図> S=1:5000



<縦断図>

回転場

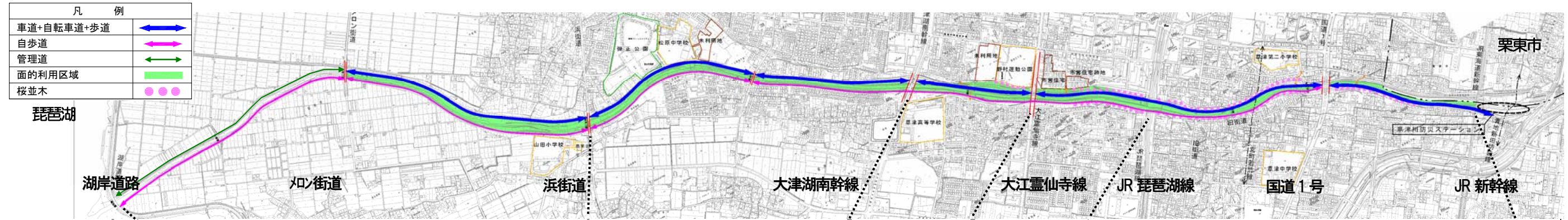
▽堤防天端=管理用道路

凡	例
自歩道	
車道	
自転車道+歩道	
管理用道路 (車道)	
管理用道路 (歩道)	
現況道路	

凡	例
管理用道路	
左岸堤防天高 (現況)	
右岸堤防天高 (現況)	



■草津川廃川敷地を活かしたにぎわいづくり及び都市の防災機能強化の例示（案）



にぎわいづくりの例示

旧草津川の歴史と新しい景観づくりの基礎となる連続的な緑をシンボルとして、新しい交流とにぎわいを創造する

全川を通じたにぎわいづくり

ハード整備

ソフト施策

農をテーマにした交流とにぎわいの創造

健康とスポーツをテーマにした交流とにぎわいの創造

歴史文化をテーマにした交流とにぎわいの創造

ブロック毎の特徴を活かしたにぎわいづくり

ハード整備

ソフト施策

農園 (貸農園、観光用ハウス等)

拠点施設 (事務所、販売所、食堂)

多様なスポーツ広場

多目的利用できる広場 (臨時駐車場にもなる)

多目的広場 (歴史展示施設を併設)

茶屋をイメージした店舗 (屋根を利用して太陽光の発電)

収穫体験のイメージ

- ・収穫体験、収穫祭
- ・日帰りの型農園体験
- ・野菜市 (JA 等と提携)
- ・農業学習 (学校教育)
- ・草津ブランドの発信、販売拠点 (草津メロン etc)
- ・生産者との交流 (栽培した農作物の試食会 etc)

スポーツ大会のイメージ

- ・グランドゴルフ等の身近なスポーツの大会 (弾正・野村運動公園と連携)
- ・散策路や歩道を活用したウォーキング、ジョギング大会
- ・スポーツ教室、健康教室
- ・フリーマーケット等の開催

宿場まつり

音楽祭のイメージ

歴史紹介のイメージ

野菜市のイメージ

- ・宿場まつり等の「外」拠点
- ・渡し、街道風景の再現
- ・天井川の歴史の情報発信
- ・桜、紅葉など花見まつり
- ・夜の灯りイベント (イルミネーション、ライトアップ etc)
- ・街道商店街と連携 (掘り出し市、100円市)

都市の防災機能強化の例示

■ハード整備

◆多目的広場等の防災拠点

◆多目的広場等に設置する防災施設の例

多目的広場のイメージ

パーゴラ (非常時) のイメージ

非常用便屋 (非常時) のイメージ

防火樹林帯のイメージ

地下貯水槽 (飲料用) のイメージ

■ソフト対策

◆防災情報の共有化

◆防災訓練・体験等の実施

ハザードマップ等と連携して防災情報の一元化と共有化を図る

広場等を利用して防災訓練や災害体験を定期的実施し防災意識の向上を図る